

校番	031	ホームルーム活動	生徒会活動	<input type="radio"/>	学校行事	別紙様式
----	-----	----------	-------	-----------------------	------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	松永高等学校	校長	山垣内 俊行	生徒指導主事	山田 和弘
-----	--------	----	--------	--------	-------

取組事例名 『運動会』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「協調性・表現力」	3	「責任感・連帯感」	1	「使命感」	2

取組のねらい『全力演技』

年次対抗により、集団意識及び所属意識を高め、個々の持っている能力を出し合い、認め合うことで団結心と連帯感を養う。

取組の具体的内容『年次対抗戦』

入場行進、準備体操をはじめ、ほとんどの競技種目において年次対抗で争った。年次の一クラスずつが受け持つ競技種目の設定や、クラス対抗リレーでは、年次での予選を勝ち上がったクラスが決勝に出場する形式を設定するなどして、クラスの集団意識を高め、さらに、年次の集団意識を高めていくという内容としている。



取組の課題・創意工夫『生徒の心に火をつける』

事前準備におけるグラウンド整備について、環境保健部からの提案により、年次対抗で草取りを競争形式で行った。また、部活動の生徒を使い、サッカーゴールを埋め込んで、横断幕に「入場門」「退場門」と書いて掲げ、入退場門を設置した。環境を整えることで雰囲気を作り、生徒のやる気を出させるための取組を進めた。



取組の成果（効果）『次年度へ向けて』

生徒によるアンケート結果では、運動会について「大変よかった」「よかった」と肯定的に答えた割合が、昨年度より4.2ポイント減少している。しかし、「入場行進はどうだったか」、「準備体操はできたか」などの項目に対して、肯定的に答えた割合は、昨年度より増加している。また、応援団がない代わりに盛り上げたいとダンス部が昼休憩に踊ったり、アンケートの自由記述欄には競技種目の変更希望についての意見や来年度への意気込みが書かれていたりするなど、運動会をより良いものにしていこうという前向きな様子が伺える。



今後の展開『主体性ある生徒の育成』

今回の行事をステップにし、校内のつながりにとどまることなく、保護者及び地域の方にも楽しんでいただけるような内容へレベルアップしていきたい。そのためにも、応援団の発足や企画の立案など、生徒主体の取組が進められるような集団を育てていきたい。



他教科との関わり『集団意識の向上』

保健体育科と連携し、授業での集団行動を継続的に行うことで集団意識を高めるための取組を進めていく。